

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-113606  
 (43)Date of publication of application : 07.05.1993

G03B 21/60

(51)Int.Cl.

(21)Application number : 03-275379

(22)Date of filing : 23.10.1991

(71)Applicant : SUMITOMO CHEM CO LTD

(72)Inventor : ONO TETSUO  
 YASUNORI YUKIO  
 TAKEMURA SHINICHI

## (54) REFLECTION TYPE SCREEN

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide the screen which is small in light scattering in a perpendicular direction and is bright by constituting the screen of an anisotropic light scattering material formed by dispersing materials varying in refractive index into a transparent matrix.

CONSTITUTION: This screen is constituted of the anisotropic light scattering material formed by homogeneously dispersing the materials having anisotropic shapes and having the refractive index different from the transparent matrix into the transparent matrix in the positional relation of the materials moving in parallel with each other in good order. The transparent matrix may be any transparent blank materials. The transparent matrix and the materials having the anisotropic shapes vary in the refractive index from each other and are not compatible with each other. The difference in the refractive indices is at least 0.001. The anisotropic shapes have preferably an ellipsoidal body of revolution or rectangular parallelepiped or the shape of intermediate of both. The anisotropy of the scattering of the transparent light is higher as the anisotropy of the shape is larger, i.e., as the ratio between the major axis and the minor axis thereof is larger in the case of the ellipsoidal body of revolution. The particle size of the materials having the anisotropic shapes is 0.1 to 100 $\mu$ m and the ratio value between the max. diameter and the min. diameter is larger than 1.

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 14.05.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3013551

[Date of registration] 17.12.1999

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-113606

(43)公開日 平成5年(1993)5月7日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 0 3 B 21/80

Z 7316-2K

審査請求 未請求 請求項の数3(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平3-275379

(22)出願日 平成3年(1991)10月23日

(71)出願人 000002093

住友化学工業株式会社

大阪府大阪市中央区北浜4丁目5番33号

(72)発明者 大野 哲郎

大阪府高槻市塚原2丁目10番1号 住友化学工業株式会社内

(72)発明者 康兼 幸雄

大阪府高槻市塚原2丁目10番1号 住友化学工業株式会社内

(72)発明者 武村 真一

大阪府高槻市塚原2丁目10番1号 住友化学工業株式会社内

(74)代理人 弁理士 謝石 光▲ひろ▼ (外1名)

(54)【発明の名称】 反射型スクリーン

(57)【要約】

【目的】従来の反射型スクリーンより垂直方向の光散乱が小さく、明るい画面を有する反射型スクリーンを提供する。

【構成】透明マトリックス中に、異方的形状を有し、かつ、この透明マトリックスと異なる屈折率の物質が、秩序よく互いに平行移動した位置関係で、均質に分散している異方的光散乱材料から構成される反射型スクリーン。

(2)

特開平5-113606

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】透明マトリックス中に、異方的形状を有し、かつ、該透明マトリックスと異なる屈折率の物質が、秩序よく互いに平行移動した位置関係で、均質に分散している異方的光散乱材料から構成される反射型スクリーン。

【請求項2】互いに屈折率が異なり、かつマトリックスと異方的形状の分散物質とを形成する相分離型の2種以上の樹脂のうち少なくとも1種は透明樹脂からなる組成物を延伸加工してなる異方的光散乱材料から構成される

請求項1記載の反射型スクリーン。

【請求項3】請求項1記載の異方的光散乱材料に偏光膜を組み合わせてなる請求項1記載の反射型スクリーン。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、プロジェクター用の反射型スクリーンに関する。

【0002】

【従来の技術】最近、表示装置としてブラウン管や液晶で形成した画像をスクリーンに投影する拡大投影が使用されるようになった。この時利用される反射型スクリーンは、拡散フィルム及び反射フィルムから構成され、プロジェクターから出射した光を観察側に散乱する役目を持っている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の反射型スクリーンは、水平方向や垂直方向に広く散乱するために画面が暗くなるという問題点があった。これは、拡散フィルムには拡散させるための無機フィラーが添加されており、その故に水平方向及び垂直方向ともに広く拡散するためである。

【0004】

【課題を解決するための手段】かかる事情に鑑み、本発明者らは垂直方向の散乱を小さくして、明るい画面の反射型スクリーンについて鋭意検討した結果、要求する性能を有し、安定的に、しかも容易に製造することができ材料を見出し、さらに種々の検討を加えて本発明を完成するに至った。

【0005】すなわち、本発明は、透明マトリックス中に、異方的形状を有し、かつ、透明マトリックスと異なる屈折率の物質が、秩序よく互いに平行移動した位置関係で均質に分散している異方的光散乱材料から構成される反射型スクリーンを提供する。

【0006】以下、本発明を詳細に説明する。本発明に用いる透明マトリックスとしては、透明な素材であれば必ずしも限定されず、市販の材料の中から選択することができる。

【0007】例えば、ポリエチレン、エチレン-プロピレン共重合体、エチレン-酢酸ビニル共重合体及びその部分又は全部ケン化物、エチレン-アクリル酸エチル共

2

重合体、エチレン-メタクリル酸メチル共重合体、エチレン-酢酸ビニル-メタクリル酸メチル共重合体、ポリプロピレン、ポリビニル- $\alpha$ -オレフィン共重合体等のオレフィン系樹脂、ポリ塩化ビニル樹脂等の塩化ビニル系樹脂、アクリロニトリル-スチレン共重合体等のアクリロニトリル系樹脂、ポリスチレン、スチレン-メタクリル酸メチル共重合体等のスチレン系樹脂、ポリアクリル酸エチル等のアクリル酸エステル重合体、オリメタクリル酸メチル等のメタクリル酸エステル重合体、それらの共重合体や他の共重合成分を加えた（メタ）アクリル酸エステル系樹脂、ポリエチレンテレフタレート等のポリエステル樹脂、ナイロン等のポリアミド樹脂、ポリカーボネート樹脂、エチルセルロース、アセチルセルロース等のセルロース樹脂、ポリウレタン系樹脂、シリコン系樹脂等が挙げられる。

【0008】次に本発明にて用いる異方的形状を有する物質及びそれを透明マトリックス中に分散させる方法について説明する。

【0009】透明マトリックスと異方的形状を有する物質とは、その屈折率が互いに異なるものであって、互いに相違しないものである。透明マトリックスと異方的形状を有する物質の屈折率の差は、少なくとも0.001であり、好ましくは0.01以上である。

【0010】異方的形状とは、回転楕円体、直方体、またはこの両者の中間の形状、円柱状等が例示されるが、好ましくは回転楕円体、直方体またはこの両者の中間の形状をもつものが挙げられる。

【0011】形状的に要求される条件としては、等方的な形状であってはいけなく、また全くの不定形でも効果的でない。形状の異方性が大きいほど、つまり回転楕円体であればその長軸と短軸の比が大きいほど、また直方体であれば長辺と短辺の比が大きいほど、透過光の散乱の異方性もより高度なものとなる。

【0012】異方的形状を有する物質の粒子径は、0.1 $\mu$ m～100 $\mu$ mであり、好ましくは0.5～70 $\mu$ m程度であり、最大径と最小径の比の値が1より大きいものである。

【0013】異方的形状を有する物質としては、前記したマトリックスと同様の材料であればよく、透明でなくてもよい。

【0014】これらの異方的形状を有する物質は、透明マトリックス中に、秩序よく互いに平行移動した位置関係で分散されていることが必要要件である。すなわち、例えば回転楕円体の場合にはその長軸の方向を一定に揃えること、また直方体の場合は、その直方体の面々の対応する辺の方向を一致させることである。

【0015】異方的形状の物質を前記のように秩序よく配列させる方法は、例えば、透明の高分子化合物に既に異方的な形状をした物質を配合し、これをフィルム又はシート状に成形し、一軸方向に延伸を行なう方法等も考

(3)

特開平5-113606

3

えられる。しかしながら、この方法は生産の安定性に劣り、工業面からは必ずしも好ましいものではない。

【0016】本発明においては、工業的に有用な方法について検討し、次のような新規な製造方法を見出した。すなわち、本発明を構成する異方的光散乱材料の製造法は互いに屈折率が異なり、かつマトリックスと異方的形状とを形成する相分離型の2種以上の樹脂のうち少なくとも1種は透明樹脂であって、これら樹脂を混練して得られる組成物を押出し成形し、ついで一軸方向に延伸加工を行なう方法である。この方法によれば混練段階では、島部である分散粒子は等方的形状（球状）をとるものであるが、延伸加工を施す際に島部である分散粒子は、延伸方向に長軸を持つ回転楕円体型の異方的形状に変形され、秩序よく互いに平行移動した位置関係でマトリックス中に均質に分散せられる。

【0017】異方的形状物の異方性は延伸時の吐出量、引取速度により依存し、換言すれば、これらの加工条件を適切に設定することにより、形状の異方性は任意に変化させることができる。

【0018】このような延伸加工としては、インフレーション加工、T-ダイ加工等が挙げられ、T-ダイ加工が加工条件の設定等の面で好ましい。

【0019】また、本発明の反射型スクリーンを構成する異方的光散乱材料の製造法に用いる樹脂組成物としては、例えば、ポリエチレン-エチレン-プロピレン共重合体、エチレン-酢酸ビニル共重合体及びその部分又は全部ケン化物、エチレン-アクリル酸エチル共重合体、エチレン-メタクリル酸メチル共重合体、エチレン-酢酸ビニル-メタクリル酸メチル共重合体、ポリプロピレン、プロピレン- $\alpha$ -オレフィン共重合体等のオレフィン系樹脂に対して、塩化ビニル樹脂等の塩化ビニル系樹脂、アクリロニトリル-スチレン共重合体等のアクリロニトリル系樹脂、ポリスチレン、スチレン-メタクリル酸メチル共重合体等のスチレン系樹脂、ポリアクリル酸エチル等のアクリル酸エステル系重合体、ポリメタクリル酸メチル等のメタクリル酸エステル系重合体、それらの共重合体や他の共重合成分を加えた（メタ）アクリル酸エステル系樹脂、ポリエチレンテレフタレート等のポリエステル樹脂、ナイロン等のポリアミド樹脂、ポリウレタン樹脂、エチルセルロース、アセチルセルロース等のセルロース樹脂、オリウレタン系樹脂、シリコン系樹脂等を混練することが好ましい。

【0020】オレフィン系樹脂としては、例えば、低密度ポリエチレンであり、より好ましくは超低密度ポリエチレンを挙げることができ。

【0021】オレフィン系樹脂に対して、混練する樹脂としては、例えば、スチレン系樹脂が好ましい。スチレン系樹脂としては、ポリスチレンを挙げることができ、より好ましくは、分子量が14万以下のポリスチレンを挙げることができ。

4

【0022】このような樹脂の配合は、重量比で95/5～5/95、好ましくは70/30～30/70である。

【0023】上記製造法により得られる異方的光散乱材料の異方的形状物の長軸方向が、プロジェクター用スクリーンの上下方向（垂直方向）になるように設置する。

【0024】本発明の反射型スクリーンは、例えば異方的光散乱材料と異方的光散乱材料内に入射した光を反射する反射フィルムとから構成される。

【0025】さらに本発明は、偏光膜と異方的光散乱材料とを組合せると、コントラストの向上した反射型スクリーンが得られる。液晶光源のプロジェクターから出射される光は偏光しているため、スクリーン上の画像の明度の低下は殆ど生じず、また偏光膜は、偏光していない外光を約50%カットすることによりコントラストの向上に寄与する。

【0026】本発明の反射型スクリーンに用いられる偏光膜は、特に限定されるものではないが、偏光性が高い程、高いコントラストが得られるので好ましい。偏光膜は自然光の透過率が約50%で、偏光光の透過率が約90%以上のものが好ましい。

【0027】

【発明の効果】本発明の反射型スクリーンは異方的光散乱材料から構成されるため、異方的散乱を示し、垂直方向の散乱が小さくなるため画面の輝度を向上させることができる。

【0028】

【実施例】以下、本発明を実施例により説明するが、本発明はこれら実施例に限定されるものではない。

【0029】実施例1

(1) 異方的光散乱材料の作製

屈折率1.54の超低密度ポリエチレン（密度0.90）60重量部と、屈折率1.59のポリスチレン（分子量95000）40重量部を混練し、ポリエチレンをマトリックスとし、ポリスチレンを球状分散物（海島構造の島部分）とする相分離型樹脂組成物を調製した。この相分離型樹脂組成物を吐出口クリアランス0.7mmのT-ダイ式押出加工機に供給して溶融温度240℃にて押出加工を行なった。押出されたシート状の溶融樹脂を15mm/分で押出し方向に強く引取り延伸をかけながら冷却して、本発明の反射型スクリーンに用いる異方的光散乱材料のフィルム（膜厚50 $\mu$ m）を得た。

【0030】その際、海島構造の島部分であるポリスチレンの球状分散物は延伸方向に長軸を持つ回転楕円体型の異方的形状に変形され、秩序よく互いに平行移動した位置関係に均質に分散されていた。異方的形状は、その長軸が約20 $\mu$ m、短軸が約1 $\mu$ mであった。

【0031】(2) 反射型スクリーンの作製

上記の異方的光散乱材料とアルミニウムフィルム（膜厚100 $\mu$ m）の反射フィルムを粘着剤で貼合して反射型

50

(4)

特開平5-113606

5

6

スクリーンを作製した。

(3) 反射型スクリーンの評価

液晶プロジェクターから投写し、反射型スクリーンの明るさとコントラストを暗室及び明室でそれぞれ目視評価した。その結果を表1に示す。なお、暗室は外光をまったく遮断し、明室は1000ルクスの明るさとした。

【0032】実施例2

実施例1で作製した反射型スクリーンに偏光膜（住友化学工業（株）製 登録商標スミカランSG1852A

P）を粘着剤で貼台したものを反射型スクリーンとし \*10

\*た、用いた偏光膜は、自然光透過率50%、偏光光透過率90%の光学特性を有するものであった。実施例1と同様に評価した結果を表1に示す。

【0033】比較例1

表面凹凸の拡散フィルム（ポリカーボネートフィルム、膜厚50 $\mu$ m）とアルミニウムフィルム（膜厚100 $\mu$ m）からなる従来の反射型スクリーンを用いて、実施例1と同様に評価した結果を表1に示す。

【0034】

【表1】

	暗 室		明 室	
	明るさ	コントラスト	明るさ	コントラスト
実施例1	○	○	○	△
実施例2	○	○	○	○
比較例1	△	○	△	△

○・・・良好

△・・・普通

特開平5-113606

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第2区分  
 【発行日】平成11年(1999)7月2日

【公開番号】特開平5-113606  
 【公開日】平成5年(1993)5月7日  
 【年通号数】公開特許公報5-1137  
 【出願番号】特願平3-275379  
 【国際特許分類第6版】

G03B 21/60  
 F11  
 G03B 21/60 Z

【手続補正言】  
 【提出日】平成10年5月14日  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正内容】

【特許請求の範囲】  
 【請求項1】透明マトリックス中に、異方的形状を有し、かつ、該透明マトリックスと異なる屈折率の物質が、秩序よく互いに平行移動した位置関係で、均質に分散している異方的光散乱材料から構成される反射型スクリーン。

【請求項2】透明マトリックスが、オレフィン系樹脂、塩化ビニル系樹脂、アクリロニトリル系樹脂、スチレン系樹脂、アクリル酸エステル重合体、メタクリル酸エステル重合体、(メタ)アクリル酸エステル系樹脂、ポリエステル樹脂、ポリアミド樹脂、ポリカーボネート樹脂、セルロース樹脂、ポリウレタン系樹脂またはシリコン系樹脂である請求項1に記載の反射型スクリーン。

【請求項3】透明マトリックスと異方的形状を有する物

質の屈折率の差は、少なくとも0.001である請求項1に記載の反射型スクリーン。

【請求項4】異方的形状が、回転楕円体、直方体、若しくはこの両者の中間の形状または円柱状である請求項1に記載の反射型スクリーン。

【請求項5】異方的形状を有する物質が、その粒子径が0.1~100 $\mu$ mであり、最大径と最小径の比の値が1より大きいものである請求項1に記載の反射型スクリーン。

【請求項6】互いに屈折率が異なり、かつマトリックスと異方的形状の分散物質とを形成する相分離型の2種以上の樹脂のうち少なくとも1種は透明樹脂からなる組成物を延伸加工してなる異方的光散乱材料から構成される請求項1記載の反射型スクリーン。

【請求項7】請求項1記載の異方的光散乱材料に偏光膜を組み合わせてなる請求項1記載の反射型スクリーン。

【請求項8】偏光膜が、自然光の透過率が約50%であり、偏光光の透過率が約90%以上である請求項3に記載の反射型スクリーン。

**Optical diffusers obtained by melt mixing of incompatible materials**

Patent Number: EP0843203  
Publication date: 1998-05-20  
Inventor(s): CLABBURN ROBIN (GB); ZEIRA EITAN C (US)  
Applicant(s): NASHUA PHOTO LIMITED (GB); NASHUA CORP (US)  
Requested Patent: ☐ EP0843203  
Application Number: EP19970309025 19971110  
Priority Number(s): US19960031096P 19961114  
IPC Classification: G03B21/60; C08J3/00; C08L101/00; C08J5/18  
EC Classification: C08J3/00B, G03B21/60  
Equivalents: ☐ JP10274704  
Cited Documents: US4983016; WO9512631; EP0265956; JP5113606

**Abstract**

A process for producing a light diffusing sheet material comprises: (a) selecting a first optically clear material and a second optically clear material, which have different indices, are immiscible in one another, and have a viscosity ratio between 0.05 and 10 measured at the processing temperature; (b) dispersing the first optically clear material in the second optically clear material by mechanical mixing, e.g. by melt mixing or compounding and (c) forming a film from the mixture. The film is caused or allowed to harden to form the sheet material. The invention further relates to sheet diffusers made by the process. In preferred embodiments, the material is oriented, e.g. by stretching after extrusion but before it has hardened, or by the extrusion process itself, so as to possess asymmetric diffusing properties.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

(19)



Europäisches Patentamt  
European Patent Office  
Office européen des brevets



(11)

**EP 0 843 203 A1**

(12)

**EUROPEAN PATENT APPLICATION**

(43) Date of publication:  
20.05.1998 Bulletin 1998/21

(51) Int Cl.<sup>6</sup>: **G03B 21/60**, C08J 3/00,  
C08L 101/00, C08J 5/18

(21) Application number: **97309025.1**

(22) Date of filing: **10.11.1997**

(84) Designated Contracting States:  
**AT BE CH DE DK ES FI FR GB GR IE IT LI LU MC  
NL PT SE**  
Designated Extension States:  
**AL LT LV MK RO SI**

(30) Priority: **14.11.1996 US 31096 P**

(71) Applicants:  
• **NASHUA CORPORATION**  
Nashua, NH 03061-2002 (US)  
• **NASHUA PHOTO LIMITED**  
Newton Abbot, Devon TG12 4PB (GB)

(72) Inventors:  
• **Zeira, Eitan C.**  
Nashua, New Hampshire 03063 (US)  
• **Clabburn, Robin**  
Sevenhampton, Wiltshire SN6 7QA (GB)

(74) Representative:  
**Howden, Christopher Andrew et al**  
**FORRESTER & BOEHMERT**  
Franz-Joseph-Strasse 38  
80801 München (DE)

**(54) Optical diffusers obtained by melt mixing of incompatible materials**

(57) A process for producing a light diffusing sheet material comprises: (a) selecting a first optically clear material and a second optically clear material, which have different indices, are immiscible in one another, and have a viscosity ratio between 0.05 and 10 measured at the processing temperature; (b) dispersing the first optically clear material in the second optically clear

material by mechanical mixing, e.g. by melt mixing or compounding and (c) forming a film from the mixture. The film is caused or allowed to harden to form the sheet material. The invention further relates to sheet diffusers made by the process. In preferred embodiments, the material is oriented, e.g. by stretching after extrusion but before it has hardened, or by the extrusion process itself, so as to possess asymmetric diffusing properties.

**EP 0 843 203 A1**



## Description

THIS INVENTION relates to optical diffusers which may advantageously be used for front or rear projection screens in general, and in particular to optical diffusers comprising incompatible materials which are mixed in the fluid phase

5 to subsequently form a light diffusive material in sheet form upon conversion to the solid phase.

Projection screens work by scattering the light from a real image projected onto the screen. Each point on the screen in such an arrangement acts as a point source of light.

The range of viewing angles from which an image projected onto an actual projection screen appears acceptably bright is indicated by a measure termed "angle of view" (AOV). In general, the angle of view measured in a horizontal plane need not be the same as the angle of view measured in a vertical plane. A screen in which the angle of view measured in a horizontal plane is different from the angle of view measured in a vertical plane is referred to as having asymmetric diffusion characteristics or, for brevity, as being asymmetric or as having asymmetry. An idealised (Lambertian) screen scatters light falling on it equally in all directions and thus an image projected onto such a Lambertian screen would appear equally bright from all vantage points in front of the screen. A Lambertian screen would thus have an angle of view of 90°. In principle, the brightness of an image on a projection screen from any particular viewpoint can be increased by having the screen direct light preferentially towards that viewpoint rather than scattering light equally in all directions. Thus, a screen with a smaller angle of view will appear brighter (all other things being equal), from viewpoints within its angle of view than a screen having a larger angle of view.

The ratio of the brightness, from a particular viewpoint (usually along a normal to the screen), of a particular image projected onto an actual screen, to the corresponding brightness if the screen were replaced by a Lambertian screen, is referred to as the screen gain. Thus, whilst a Lambertian screen would have an angle of view of 90°, it would appear less bright than a projection screen with a more limited angle of view, from viewpoints within that angle of view, since the Lambertian screen has, by definition, a screen gain of 1 (again signifying that the light from the Lambertian screen is scattered equally in all directions). In typical viewing situations it is not necessary to project the image to the ceiling nor to the floor since it is unlikely that a viewer will be in those positions. Therefore, if one could take all the light that would otherwise be wasted in non-viewing regions and redirect it to the viewing region, i.e. in front of the screen at eye level, this would make the screen apparently brighter since the extra light would be directed to the viewing region at the expense of the non-viewing region.

A projection screen with such optical properties would, of course, be asymmetric as defined above.

30 For applications such as front and rear television projection systems and brightness enhancing films for computer screens the importance of obtaining a high gain over a wide range of horizontal angles but over a narrower vertical angle of view (or, in other words, redirecting the light from the vertical to the horizontal) has been increasingly recognised. In practical terms, this means that the projected image obtained is as bright as possible, for viewing positions in front of the screen which are likely to be adopted. Various solutions to this problem have been presented in the art, such as lenticular lens arrays, embossed screens, etc.

A recent product from Rohm and Haas called Plex-L, made in accordance with U.S. Patents Nos. 5237004 and 5307205 attempted to address some of the challenges for projection screens. This product comprises crosslinked acrylic spherical particles dispersed in an acrylic matrix. The refractive index differential,  $\Delta n$ , between the spherical particles and the matrix produces the light redirecting action by refraction. AOV is controlled by the concentration of the spherical particles in the matrix, the  $\Delta n$  (i.e. refractive index difference) between the particles and the matrix, the particle size and the overall thickness of the film as Matsuzaki *et al* teaches in U.S. Patent No. 5196960. However, this material has a number of limitations which hinders its wide use in projection screens.

In the Plex-L material (see Figure 1), the AOV varies with the thickness of the screen. A thicker film contains more spherical particles and hence more scattering centres which lead to a higher angle of view of the resultant screen. However, the increase in screen thickness results in a loss of image definition. Also, it is desirable for a screen to have a high AOV as well as a high gain. These properties, however, are inversely related, that is high AOV screens tend to be relatively thick and have poor definition and lower gain whereas low AOV screens tend to be thinner and have better definition and higher gain. It has been proposed to use ellipsoidal particles preferentially oriented in the surround matrix to create asymmetric optical properties by reducing the vertical AOV while the horizontal AOV remains unchanged, as described in U.K. Patent No. 540,567, U.S. Patent No. 4165153 and U.S. Patent No. 4983016. In accordance with U.S. Patent No. 5473454, the Plex-L material can be stretched which causes the spherical particles to attain an ellipsoidal shape and thus preferentially deflect the light in the horizontal direction at the expense of the vertical direction (assuming the major axes of the ellipsoids to be vertical). In this patent, a thin sheet of Plex-L material is heated and stretched in one direction while the dimensions in the other (perpendicular) direction are kept constant. The choice of acrylic as the base material, however, limited the aspect ratio of the ellipsoidal particles to 2:1 which only enhances asymmetry only slightly. Furthermore, the additional and separate stretching step increases the complexity of the manufacturing process for this product and limits its versatility.

The present invention offers solutions to these shortcomings by minimising the number of process steps required

to manufacture the screens, offering a wide array of materials that can be used to make the screen providing much higher aspect ratios and by achieving a high AOV at lower thicknesses and thereby increasing screen definition at a given AOV (see Figure 1).

According to the present invention there is provided a process for producing a light diffusing sheet material comprising the steps of:

- (a) selecting a first optically clear material and a second optically clear material which are both fluid at a predetermined processing temperature and have different refractive indices; said materials being immiscible in their fluid state,
- (b) mechanically mixing said materials at said processing temperature so as to disperse the first material in the second material whereby said first material is present as a dispersion of discrete globules in said second material,
- (c) forming a film from said mixture, and
- (d) causing or allowing the film or at least said second material, to solidify so that said globules form light-dispersing particles.

The first and second materials may be materials which are solid at room temperature and which, when heated, will become fluid at an elevated temperature such as thermoplastic polymeric materials, materials which are fluid at room temperature but are capable of subsequent setting or polymerisation to a solid form, (either thermoplastic or thermoset) and combinations of these materials. The term "optically clear material" as used herein, means material which has a light transmission of at least 80%, preferably 85%, more preferably 90%.

In one embodiment, the first and second optically clear materials have a viscosity ratio that is between 0.05 and 10 at the processing temperature and the first optically clear material is dispersed in the second optically clear material by melt mixing or compounding, for example in a simple extruder, to form a mixture in which the first material is present as a multiplicity of discrete globules. (The viscosity ratio is defined as the viscosity of the matrix material divided by the viscosity of the dispersed phase material). In this embodiment, the step of forming a film from the mixture includes hardening the film, and where appropriate, orienting the material, preferably as an integral part of the sheet forming process, to create asymmetrical optical properties. In one embodiment at least, said second material is thermoplastic and is caused to harden by cooling. In another embodiment, at least said second material is caused or allowed to harden by chemical action, for example by polymerisation, which may be induced chemically or physically (for example by exposure to UV or other ionising radiation or by heating).

The invention further relates to sheet diffusers made according to any of the processes disclosed herein.

Whilst, in embodiments of the invention, the dispersion of the first material in the second is effected by vigorous mechanical mixing, beating, compounding, or mastication, for example utilising the mechanical mixing effect afforded by the screw or screws in a conventional screw extruder, the final size or final minimum size of the globules of said first material at the end of this mechanical mixing is, the applicants have found, also a function of the relative viscosity of the two materials. Ideally the ratio of the viscosity of the second (matrix) material to the first (dispersed) material, should be in the range 0.05 to 10, (more preferably greater than 1). The applicants have also found that the minimum globule size readily obtainable is also a function of the interfacial surface energy between the two materials, (which may be modified by the use of surfactants).

In a preferred embodiment, the two optically clear materials have an interfacial surface energy between  $1 \times 10^{-4}$  and  $1 \times 10^{-2}$  N/m at the processing temperature.

In order to render the sheet material asymmetric as regards its light-diffusing properties (e.g. so that it scatters light more widely horizontally than vertically) it is preferably oriented, e.g. by physically stretching before it has become solid or in the course of extruding the sheet or film.

As noted above, the first and second optically clear materials may be materials which are liquid at room temperature but which can solidify as a result of chemical action or of subsequent processing. For example, the materials may be monomers, prepolymers or mixtures of the components of two-part curing systems, the mixing, dispersing and subsequent casting or extrusion of the mixture to form a film taking place before such setting or solidification has taken place. Where, in this case, the material is to be oriented, for asymmetry, this may, for example, be achieved by extruding or pouring the material, at the appropriate stage in the setting process, onto a moving belt or web travelling somewhat faster than the extrusion rate, whereby the material is oriented in such pouring or extrusion but sets before the dispersed globules, which have become elongated as a result of such extrusion or pouring, are able to revert to a spherical shape. Alternatively, the first and second materials may be thermoplastic polymers or copolymers which are solid at room temperature but which will become fluid when heated. Where the materials selected are thermoplastic the mixing step will be carried out at elevated temperature. Clearly desirable properties may be achieved from combinations of materials which are solid or liquid at room temperature. Furthermore, one material may be thermoplastic and the other thermosetting, for example, where reaction rates at respective melt temperature permit, for example.

Materials which are liquid at room temperature which may be used in the present invention include, but are not

limited to, monomers and prepolymers of the general classification esters, acrylics, urethanes, siloxanes and the like, or two-component systems including epoxies, polyesters and polyurethanes. Materials which may be used which are solid at room temperature include, but are not limited to, polymers and copolymers, such as polyolefins, polyesters, polyamides or polyamide copolymers, acrylics, silicone polymers and elastomers, polystyrene, polycarbonate, cellulose acetate, cellulose acetate butyrate. In general, materials which are amorphous rather than crystalline in the solid state may provide advantageous results.

In preferred embodiments, the first and second optically clear materials may be selected from ethylene and propylene polymers and copolymers, polystyrenes and acrylics, provided, of course, that the first and second materials are immiscible.

In general, depending upon the properties desired the materials set out above may be used either as the second (matrix) material or as the first (dispersed) material, provided, of course, that the two materials selected for any particular embodiment are immiscible and have different refractive indices. It will be understood that the tendency of a specific material to become either the matrix or the dispersed phase during the mixing process depends on a number of factors including the proportions of the individual components. It will be recognized that this comment will apply to materials which are fluid at room temperature when mixed at elevated temperature with materials which are solid at room temperature. For example, siloxane resins including elastomers, fluids at room temperature can be "injected" into polyethylene or similar polymers during extrusion, or during mixing (e.g. by extruder feed screw) prior to extrusion to achieve small dispersed droplets, as described, which can then be polymerized to become effectively solid stable particles within the matrix "Solid" in this context is intended to imply that the material has been sufficiently polymerized to immobilize it effectively within the polymer matrix. Similarly, silicone elastomers can be blended with a minor proportion of polyethylene and subsequently cured so that the polyethylene particles become the dispersed phase. In some instances the silicone elastomer can be of sufficiently low molecular weight before and during the mixing process to be regarded as fluid.

Whilst, in the embodiments referred to herein the materials use are, for the most part, thermoplastics materials solid at room temperature and thus having a melting point, or glass transition temperature  $T_g$  above room temperature, the use of one or more optically clear materials which have a  $T_g$  lower than room temperature (i.e. are liquid at room temperature) are however contemplated to be within the scope of the present disclosure. (Some materials, such as glass and, notably, thermoplastic polymeric materials do not change suddenly from a solid to a liquid phase at a specific temperature and thus have no specific melting point, but rather become progressively less viscous over a range of temperatures. For such materials, in place of "melting point" a corresponding measure, namely the glass transition temperature,  $T_g$ , is used. A definition of this term is not given here, but will be known to those skilled in the art. Solid/liquid combinations have been outlined previously. Liquid/liquid combinations, that is materials combinations which are liquid at room temperature, can be mixed as described at room temperature such that one disperses within the other as small droplets. The mixture can then cast as a thin film onto a convenient substrate, typically polyester, whereafter at least the matrix material is converted to a substantially solid film by, for example, polymerisation (or condensation) using heat, UV, electron beam or other curing method. The resulting film may remain attached to the substrate or subsequently be separated from it.

Additional processing steps may be incorporated. For example, when the material which forms the light diffusing particles in the liquid phase is a solid at room temperature, it can be advantageous for this to be incorporated into the blending/dispersing process step (b) as small particles or pellets. This enables a uniform dispersion to be created quickly and can reduce the time and energy required to produce particles of the required final size. Clearly this can be advantageous when using materials which are thermally reactive or lacking in thermal stability. The film forming step may incorporate or be followed by a process which "distorts" the generally spherical shape of the dispersed phase to be ellipsoidal or otherwise elongate and in this way create asymmetric optical properties. While the mixture is in the fluid state and relatively viscous this can be achieved by orientation, for example by force or by drawing the fluid material through a die orifice or other restraint. However, the material must be converted to a solid state, typically by cooling or polymerisation, to ensure that the asymmetry is not lost due to relaxation phenomena. Alternatively the material may be subsequently oriented as described in US Patent No. 5473454.

Embodiments of the invention are described below by way of example with reference to the accompanying drawings in which:-

FIGURE 1 is graph illustrating variations in angle of view (AOV) with film thickness for a known screen material and for a screen material made in accordance with the present invention;

FIGURE 2 is a graph of viscosity vs. temperature curve for optically clear polypropylene ("PP"), and optically clear polystyrene ("PS");

FIGURE 3 is a graph of gain vs. viewing angle for a known screen material, and

FIGURE 4 is a graph, similar to Figure 3, but for an asymmetric film produced in accordance with the present invention (see Example 4).

This disclosure demonstrates making light diffusing films by creating a dispersion of light scattering optically clear particles in an optically clear matrix during mixing of the constituent components of the diffuser in the fluid phase and then forming a film or sheet by, e.g. extrusion or casting, from which a screen suitable for displaying images projected thereupon may be constructed. According to the invention, the respective light dispersing and matrix components are chosen by their respective viscosities, interfacial surface energies, and refractive index differential. More particularly, it has been found that when the ratio of the viscosity of a second (matrix) optically clear material to first (forming light dispersing particles), optically clear material is between 0.05 and 10, the first optically clear material can readily be dispersed or broken up into particles of a desired diameter during mixing or mastication of the two optically clear materials while in the fluid phase.

The second optically clear material forms the matrix or binder for the light diffusing screen, and, as such, is desirably durable stable, self-supporting, and allows lamination to other materials, such as reflective backings. Depending on the particular application, suitable optically clear materials are optically clear acrylics such as optically clear polymethylmethacrylates; optically clear polystyrenes; optically clear polypropylenes; optically clear "tenite" organic acid cellulose esters, e.g. cellulose acetate butyrates, cellulose acetate, and cellulose acetate propionate and optically clear polycarbonates. In a preferred embodiment, optically clear polypropylene/polyethylene copolymers may be used.

The first optically clear materials, dispersed in the second as small particulate or ellipsoidal "lenses", directs the light where desired. The shape of the lenses, their size and the  $\Delta n$  (refractive index difference) between the first and second optically clear materials determine the redirection of the light as well as the gain of the screen comprising the light diffusing sheet material. Examples of suitable first optically clear material are also application dependent, but may be optically clear acrylics such as optically clear polymethylmethacrylates (e.g. Zeneca XB-1223); optically clear polystyrenes; optically clear polypropylenes; optically clear "tenite" organic acid cellulose esters, e.g. cellulose acetate butyrates, cellulose acetate, and cellulose acetate propionate; and optically clear polycarbonates. In a preferred embodiment, optically clear polystyrene may be used. In many instances the matrix and dispersed phase materials are interchangeable.

Although the two optically clear materials which form the matrix and dispersed particles are discussed herein generally as homogeneous materials, each could also be heterogeneous, i.e. mixtures of optically clear materials, chosen to meet the requirements disclosed herein, i.e. immiscibility, differential viscosity, refractive index, etc. To improve processing, compatibilizers known in the art may be used, such as KRATON (Shell) block copolymers. Typically, the compatibilizer is added at less than 5% by weight based on the total weight of the mixture. These compatibilizers may be polymers or copolymers. A copolymer is herein defined as a polymer created from more than one monomer. Desirably, the compatibilizer has moieties chemically compatible with each of the components of the mixture to which it is added. For example, a matrix of ethylene ethylacrylate copolymer and a dispersed phase of polystyrene may be compatibilized by the addition of a small amount of a styrene/acrylic copolymer compatibilizer. Other compatibilizers which may be used include zinc stearate and olefin waxes.

In this disclosure, reference is made to "angle of view", or "AOV" (see Figure 3). In this specification, the term "angle of view" refers to the range of viewing angles of observers relative to a diffusing screen or a rear projection screen over which the apparent brightness of the screen is within 50% or more of the apparent brightness to an observer viewing the screen at right angles assuming that the light incident on the screen is incident along the normal to the screen. This figure is often referred to as "full width half maximum" or "fwhm". In the examples set out below, the angle of view was measured by illuminating a small area of the screen material by a laser beam (although some other collimated light beam may be used) directed normally to the plane of the screen and measuring the light reflected (or for rear projection screens transmitted) from that small area over a range of angles. Furthermore, in the following, the expression "angle of view for transmission" means "angle of view" defined as above for a screen of light-diffusing material illuminated by a projector or the like disposed on the opposite side of the plane of the screen from the observer, i.e. for a rear-projection screen whilst the expression "angle of view for reflection" means "angle of view" defined as above for a screen of light reflective material illuminated by a projector or the like disposed on the same side of the plane of the screen as the observer, i.e. for a front projection screen.

The particle size and concentration of the dispersed phase in the matrix, as well as the  $\Delta n$  of the two optically clear materials will determine the light diffusive properties of the screen. Within thickness limitations, the AOV is found to be directly proportional to the concentration and  $\Delta n$  and inversely proportional to the particle size at the dispersed phase as shown in U.S. Patent No. 5196960. It has been found that  $\Delta n$  values of 0.2 - 0.005 preferably 0.1 - 0.007 provide the desired optical properties. The particle size for the dispersed phase ranges from about 1 to 50 $\mu$ , preferably 2 to 30 $\mu$ , and more preferably 2 to 15 $\mu$ . However, for more highly asymmetric materials, oriented particles of larger volume, but having a minor dimension in the range 2 - 10 $\mu$ m, are preferred.

The material is desirably processed via vigorous mixing or mastication of the optically clear material components,

at a temperature higher than the  $T_g$  of the first material. Any apparatus capable of providing the proper mixing may be used, for example, Banbury mixer, single screw or twin screw extruder, Hobart mixer etc. For example, one embodiment of the invention employs a twin screw extruder to disperse the second optically clear material in the first and produce masterbatch pellets, which may then be loaded into a melting and conveying device (single screw extruder outfitted with a die) to produce a light diffusing sheet material. In this scenario since the raw materials and the masterbatch are solids, they may be simply loaded into the extruder hopper, simplifying manufacture of the material. In another embodiment of the invention, a single screw extruder with a cavity transfer mixer is utilised to both mix and extrude the resins in one single process.

In a preferred embodiment of the invention, the first and second optically clear materials are processed using a single screw extruder outfitted with a cavity transfer mixer and a slot die to disperse the second optically clear material in the first, and extrude the melt into a sheet form all in a single step. More preferably, the sheet emerging from the sheet die is processed onto a take up roll operating at a faster rate than the speed at which the sheet emerges from the sheet die, thereby stretching the sheet in the machine direction and imparting asymmetry to the particles of the first optically clear material dispersed in the matrix (second optically clear material) to result in a high horizontal AOV light diffuser with a high gain and a lower vertical AOV (see Figure 4).

An alternative to sheet extrusion and orientation to create an asymmetric material is to extrude the material as a tube and expand the tube to a large diameter by differential pressure which, in conjunction with haul-off ratio, enables an optimum of radial and longitudinal orientation to be achieved. Subsequently the tube is slot to form a sheet of material with asymmetric optical properties but, by comparison with the more conventional sheet process, no edge effects exist.

Figure 1 demonstrates the advantages of light diffusing materials according to the present disclosure (data points are obtained from measurements of material as shown in Table 2, below), in comparison to the PLEX-L material. It can be seen that the optical performance of the present materials is superior to the PLEX-L material, although the latter contains 40% dispersed particles, compared to the materials of Examples 4 and 5 (containing 20% or 30% dispersed particles).

The viscosity energy relationship between the two material components of the diffuser disclosed herein will be better understood by referring now to the drawings.

Figure 2 illustrates a favourable embodiment in which optically clear polypropylene (PP9524 (Exxon Chemical)) is used as the host or matrix material and optically clear polystyrene (Huntsman 208) is used as the dispersed phase. At 180°C, both materials have viscosities suitable for extrusion by an ordinary single screw extruder through a die to form a sheet or tube. Figure 2 shows PP9524 (polypropylene - abbreviated herein as "PP") having a higher viscosity than polystyrene (abbreviated herein as "PS"), below 150°C, and a lower viscosity above 160°C. Within the zone where the viscosities of the two materials are similar, acceptable size PS spherical particles can be generated and a diffuser can be produced by dispersing the PS in the PP by melt mixing. At 180°C, according to Figure 2, the viscosity ratio of the two materials is 0.8. When mixed at that temperature, for example by the feed screw of the extruder, the minor component (the polystyrene) will break up into spherical particles averaging several microns in size. The size of the spherical particles will vary depending on the concentration of the dispersed phase as well as the viscosity ratio, and to some extent the process conditions. The higher the concentration and the lower the viscosity ratio, the higher the size of the dispersed phase particles. It will be understood from Figure 2 that the viscosity ratio can be changed by varying the temperature.

The ratio of viscosity of matrix to viscosity of dispersed phase is the measured value of interest. A viscosity ratio of about 0.3 produces roughly 1 - 2 micron spherical particles (globules), as the minimum readily obtainable by mechanical mixing, when the concentration is 10% dispersed phase and 3 - 4 micron spherical particles, as the corresponding minimum, for a 20% dispersed phase. Reducing the viscosity ratio to 0.1 roughly doubles the minimum readily obtainable size of the spherical particles (globules) while increasing the viscosity ratio to 2.0 allows submicron (i.e. less than  $1 \times 10^{-6}$  m diameter) spherical particles for similar concentrations.

#### EXAMPLE 1

Light diffusing sheet material in accordance with this disclosure was made as follows. Escorene PP9524 polypropylene (Exxon Chemical) in pellet form ("PP") and crystal polystyrene 208 (Huntsman Chemical Corporation), also in pellet form ("PS"), were added in volumetric proportions of 80% PP and 20% PS to a Leistritz corotating twin screw extruder operating at a barrel temperature of 180°C. Screw speed was set at 50 RPM and feed rate was set at 40RPM. A pelletizer fitted with a water bath was used to convert the extrudate to pellets.

The pellets were thereafter fed into a Haake Rheocord 9000 outfitted with a single screw extruder and 4 inch die. The extruder was run at various RPM to extrude a film onto a take-up roll that was run at various take-up roll speeds. The die opening was 0.9 mm. The resulting films were measured for vertical angle of view AOV (V), horizontal angle of view AOV (H), gain, average particle size and the average aspect ratio of the particles. Table 1 summarises the

results obtained for a number of parameters variations to demonstrate the beneficial light dispersing properties of materials made using the methods disclosed herein.

TABLE 1

Syste m	Screw Speed, RPM	Take-up Roll RPM	Film Thickness , cm	Average Particle Size $\mu\text{m}$	Aspect Ratio	AOV Horiz.	AOV Vert.	Gain
PP/PS	25	7	0.00540	-	50	68	28	2.8
	25	28	0.00057	1.211	2.943	14.5	6	32.7
	50	7	0.02650	2.920	2.143	58.5	29	2.9
	50	28	0.00326	0.733	1.778	68	28	2.8
	100	7	0.03730	1.074	1.939	95	75	0.8
	100	28	0.01370	-	100	74.5	14	3.3

EXAMPLE 2

Light diffusing sheet material in accordance with this disclosure was made as follows. Exact Polyethylene 3024 (Exxon Chemical) in pellet form ("PE") and crystal polystyrene 208 (Huntsman Chemical Corporation), also in pellet form ("PS"), were added in volumetric proportions of 80% PP and 20% PS to a Leistritz corotating twin screw extruder operating at a barrel temperature of 180°C. Screw speed was set at 50 RPM and feed rate was set at 40RPM. A pelletizer fitted with a water bath was used to convert the extrudate to pellets.

The pellets were thereafter fed into a Haake Rheocord 9000 outfitted with a single screw extruder with a 4 inch wide die. The extruder was run at various RPM to extrude a film onto a take-up roll that was run at various take-up roll speeds. The die opening was 0.9 mm. The resulting films were measured for vertical AOV, horizontal AOV, gain, average particle size and the average aspect ratio of the particles. Table 2 summarises the results obtained with variation of a number of parameters, to demonstrate the beneficial light dispersing properties of material made using the methods disclosed herein.

TABLE 2

Syste m	Screw Speed RPM	Take-up Roll RPM	Film Thicknes s cm	Average Particle Size $\mu\text{m}$	Aspect Ratio	AOV Horiz.	AOV Vert.	Gain
PE/PS	25	7	0.02159	1.434	1.206	74	66	1.4
	50	7	0.03719	1.242	1.229	95	96	0.7
	50	7	0.03103	1.226	1.317	93	95	0.7
	50	28	00.01060	0.984	1.652	98	60	4.9
	50	28	0.00976	1.245	1.327	102	70	4.4
	100	7	0.04775	1.001	2.064	97	95	0.7
	100	7	0.03556	1.096	2.079	93	92	0.7
	100	28	0.01702	1.010	2.278	85	66	1.1
	100	28	0.01427	0.905	1.764	92	77	0.9

EXAMPLE 3

Light diffusing sheet material in accordance with thus disclosure was made as follows. Escorene PP9524 polypropylene (Exxon Chemical) in pellet form ("PP") and Tenite Butyrate 575 (Eastman Chemical Company), also in pellet form ("TB"), were added in volumetric proportions of 90% PP and 10% TB to a Leistritz corotating twin screw extruder operating at a barrel temperature of 180°C. Screw speed was set at 50RPM and feed rate was set at 40RPM. A pelletizer fitted with a water bath was used to convert the extrudate to pellets.

The pellets were thereafter fed into a Haake Rheocord 9000 outfitted with a single screw extruder and 4 inch die.

The extruder was run at various RPM to extrude a film onto a take-up roll that was run at various take-up roll speeds. The die opening was 0.9 mm. The resulting films were measured for vertical AOV, horizontal AOV, gain, average particle size and the average aspect ratio of the particles. Table 3 summarises the results obtained for a number of parameters variation to demonstrate the beneficial light dispersing properties of materials made using the methods disclosed herein.

TABLE 3

System	Screw Speed RPM	Take-up Roll RPM	Film Thickness cm	Average Particle Size $\mu\text{m}$	Aspect Ratio	AOV Horiz.	AOV Vert.	Gain
PP/TB	25	7	0.00277	2.159	1.758	8	9	135.0
	25	28	-	1.001	1.834	7	11	124.2
	50	7	0.02036	1.65	1.332	9	13	145.5
	50	28	0.00288	-	-	7	11	111.7
	100	7	0.02745	1.455	1.515	7	13	32.4
	100	28	0.01283	0.87	1.989	9	11	119.2

**EXAMPLE 4**

Light diffusing materials in which polypropylene formed the matrix material with polystyrene as the dispersed phase were produced as follows: Escorene polypropylene PP9524 was compounded in bulk with Crystal polystyrene 207 (Huntsman) in the ratio 70:30 in a Leistritz twin screw extruder as described in Example 1.

Pellets from this process were extruded into sheet thin a 2" single screw Francis Shaw extruder fitted with a 16" sheet die with a die gap of 1mm. The resulting sheet was oriented by varying the haul-off conditions. The haul-off equipment consisted of a 3-roll stack with independent temperature and speed controls and separately controlled nip rolls. Orientation could be carried out both above and slight below the  $T_g$  of the matrix material.

The results are summarised in the following Table 4 and are illustrated in Figure 4.

TABLE 4

Film	Thickness	Draw Ratio	AOV (H)	AOV (V)	Gain	Draw Type
1	0.17mm	5.9	70	22	2.9	Above $T_g$
2	0.69mm	1.5	120	116	0.6	Above $T_g$
3	0.25mm	4.0	90	42	1.6	Above and below $T_g$
4	0.26mm	3.8	94	42	1.6	Above $T_g$
5	0.36mm	2.8	112	80	1.0	Above $T_g$

**EXAMPLE 5**

Raw materials as in Example 4 were fed to a 40 mm extruder fitted with a cavity transfer mixer, 8 inch slot die set at 1.5 mm utilising the same haul-off set-up described in Example 4. The cavity transfer mixer was fitted with 9 vanes. This set up enabled the separate compounding step to be eliminated. Comparison of electron micrographs of sections of material taken from Examples 4 and 5 showed a similar mean particle size ( $XX\mu\text{m}$ ) with material from Example 5 showing a lesser variation in particle size. The polystyrene percentages were 30 (as Example 4) and 21. Optical properties of sheet materials produced through the above process are summarised in Table 5.

TABLE 5

Sample	Polystyrene %	Thickness mm	AOV(H)	AOV (V)	Gain
1	21	1.47	124	124	0.48
2	21	0.37	99	64	1.04
3	21	0.28	84	39	1.57

TABLE 5 (continued)

Sample	Polystyrene %	Thickness mm	AOV(H)	AOV (V)	Gain
4	21	0.15	50	16	5.72
5	30	0.77	121	116	0.55
6	30	0.47	113	84	0.76
7	30	0.40	108	63	( ).93
8	30	0.30	96	34	1.49
9	30	0.24	83	22	2.32
10	30	0.18	66	14	4.20
11	30	0.18	60	10	5.62
12	30	0.13	40	6	12.73

It should be noted that other embodiments and variations of the disclosed invention will be apparent to those of ordinary skill in the art without departing from the inventive concepts contained herein. Accordingly, this invention is to be viewed as embracing each and every novel feature and novel combination of features present in or possessed by the invention disclosed herein and is to be viewed as limited solely by the scope and spirit of the appended claims.

In preferred embodiments of the present invention, the average size of the light-diffusing particles in the finished product may be 1 to 50 $\mu$ , preferably 2 to 30 $\mu$ , more preferably 2 to 15 $\mu$ . Still more preferably the average particle size is greater than or equal to 5 $\mu$ , for example 5 to 30 $\mu$ , more preferably 5 to 15 $\mu$ .

The difference  $\Delta n$ , between the refractive index of the first material and the refractive index of the second material may be 0.2 or more, preferably 0.1 or more, although values of  $\Delta n$  as low as 0.005 may be useful.

The features disclosed in the foregoing description, in the following claims and/or in the accompanying drawings may, both separately and in any combination thereof, be material for realising the invention in diverse forms thereof.

### Claims

1. A process for producing a light diffusing sheet material comprising the steps of:

(a) selecting a first optically clear material and a second optically clear material which are both fluid at a predetermined processing temperature and have different refractive indices, said materials being immiscible in their fluid state,

(b) mechanically mixing said materials at said processing temperature so as to disperse the first material in the second material whereby said first material is present as a dispersion of discrete globules in said second material,

(c) forming a film from said mixture, and

(d) causing or allowing the film, or at least said second material, to solidify so that said globules form light-dispersing particles.

2. A process according to claim 1 wherein at least said second material is caused or allowed to harden by chemical action, for example by polymerisation, which may be induced chemically or physically (for example by exposure to UV or other ionising radiation or by heating).

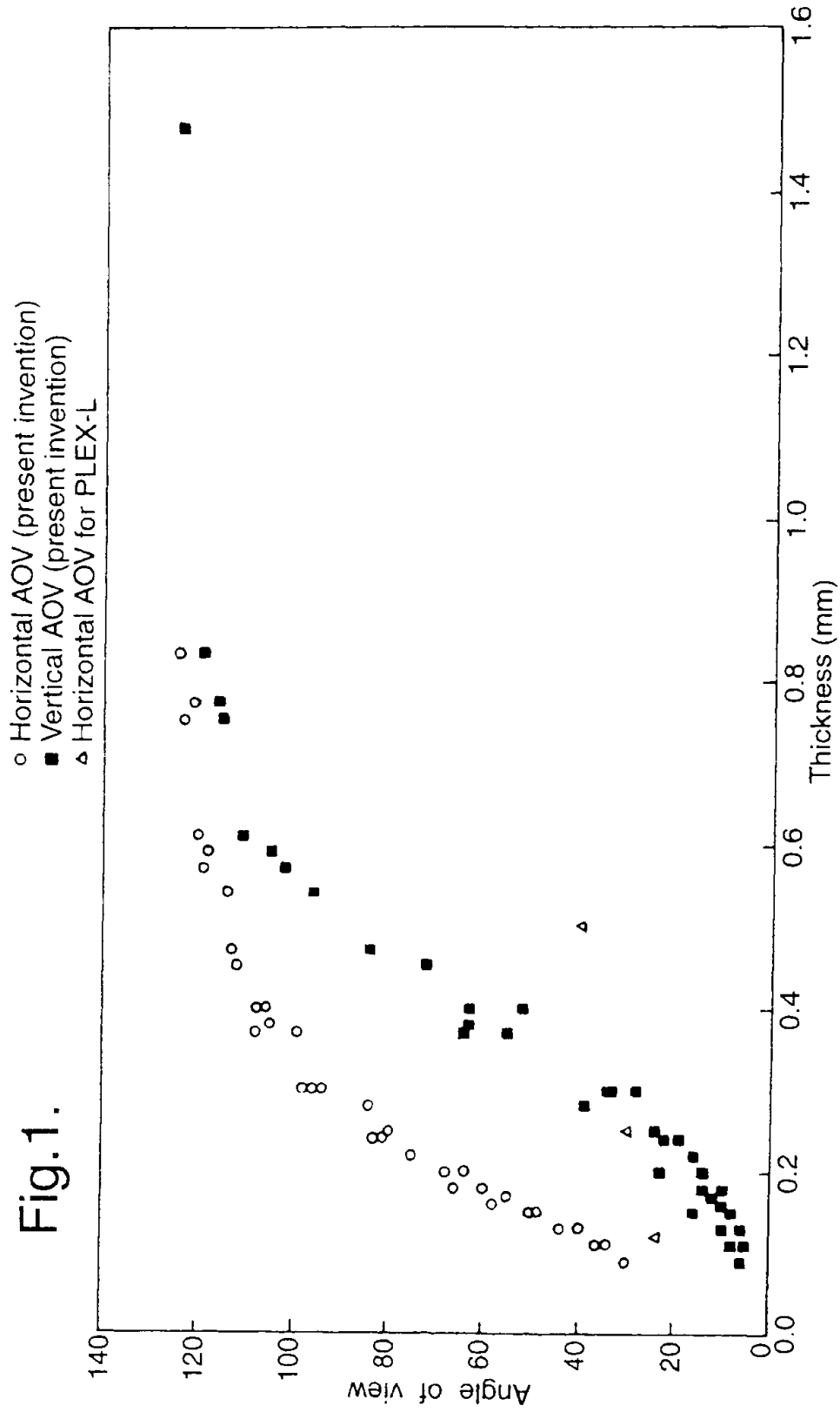
3. A process according to claim 1 wherein at least said second material is a thermoplastics which is solid at ambient temperature and wherein said processing temperature is above the melting point or glass transition temperature ( $T_g$ ) of the thermoplastics.

4. A process according to any preceding claim wherein at least said second material is a thermosetting or polymerisable material and wherein said film-forming step comprises casting or extruding the mixture, whilst fluid or still fluid, into or onto a support and allowing or causing it to set.

5. A process according to claim 1, wherein said first and second materials have a viscosity ratio between 0.05 and 10 as measured at the processing temperature.



6. A process according to any preceding claim including orienting said film to create asymmetric optical properties.
7. The process of claim 6 in which the angle of view of the material before the orientation process is at least 60°.
8. The process of claim 1 wherein said film forming step comprises extruding said mixture through a sheet die.
9. The process of claim 1 wherein said film is extruded using a tube die.
10. The process of claims 2 or 3 further comprising the step of stretching said film as it exits said die in order to orient the film.
11. The process of claim 1 wherein the average particle size of said light dispersing particles is from 1 to 50 $\mu$ .
12. The process of claim 1 wherein the average particle size of said light dispersing particles is from about 2 to 30 $\mu$ .
13. The process of claim 1 wherein the average particle size of said light dispersing particles is from about 2 to 15 $\mu$ .
14. The process of claim 7 wherein said sheet is stretched in the machine direction by winding said sheet on a take-up roll operating faster than the speed at which the sheet exits from said die.
15. The process of claim 8 in which the tube formed is oriented by a combination of differential pressure and haul-off rate.
16. The process of claim 1 wherein said film forming step further comprises orienting said dispersed globules of said first material in the machine direction by extruding said mixture through a die.
17. The process of claim 1 wherein said dispersing step is accomplished by using a twin-screw extruder in the production of masterbatch pellets; said masterbatch pellets being subsequently processed into sheet form using a single screw extruder to melt, convey, and extrude the melt into said sheet form.
18. The process of claim 1 in which processing aids are incorporated in the mixture.
19. The process of claim 17 in which the processing aids are polymers or copolymers.
20. The process of any of claims 1 to 14 in which one of said materials comprises a polyolefin and the other of said materials comprises polystyrene.
21. A light diffusing sheet material made by the process of claim 1.
22. The light diffusing material made by the process of claim 6 in which the asymmetry after the orientation process is at least 2:1.



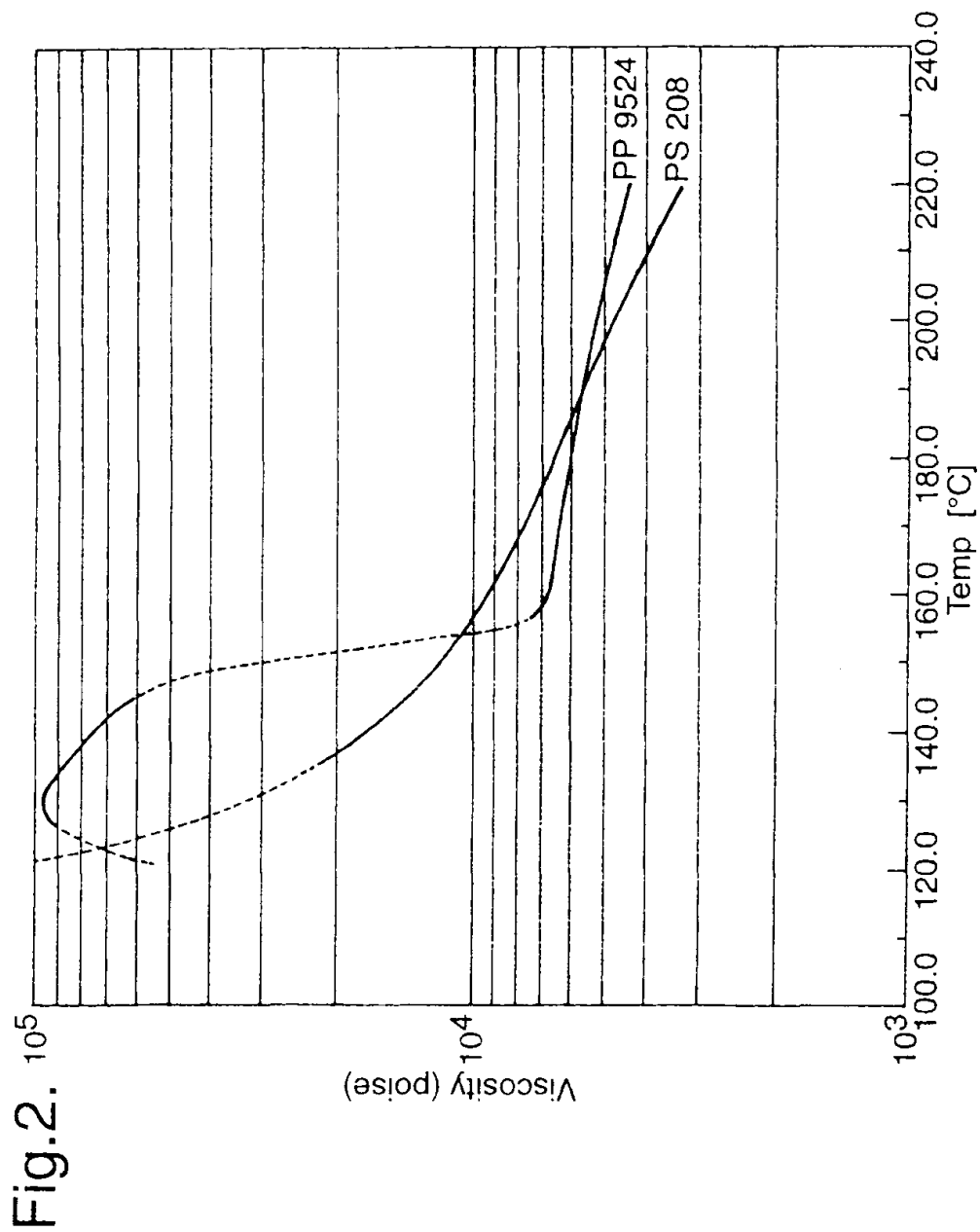


Fig.3.

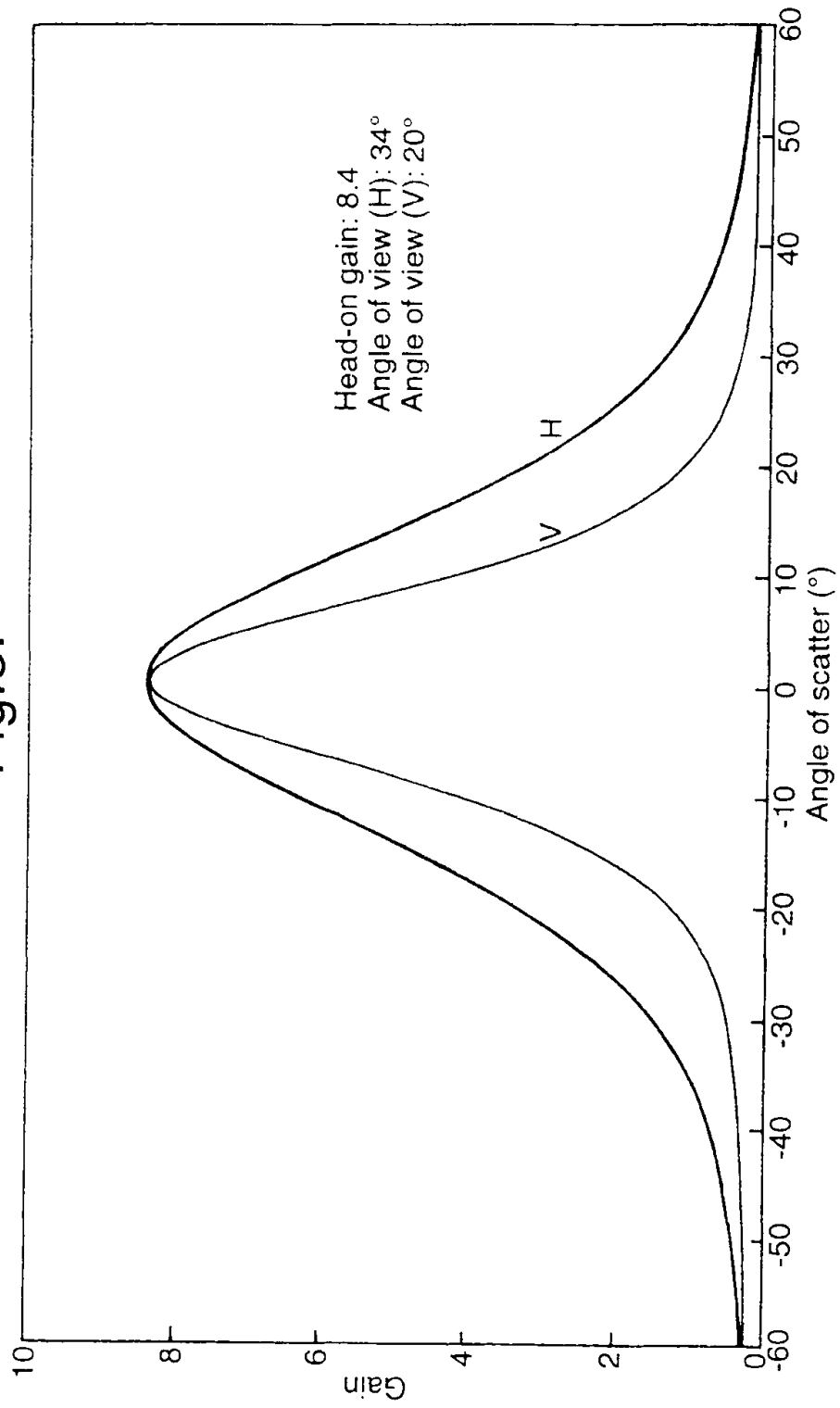
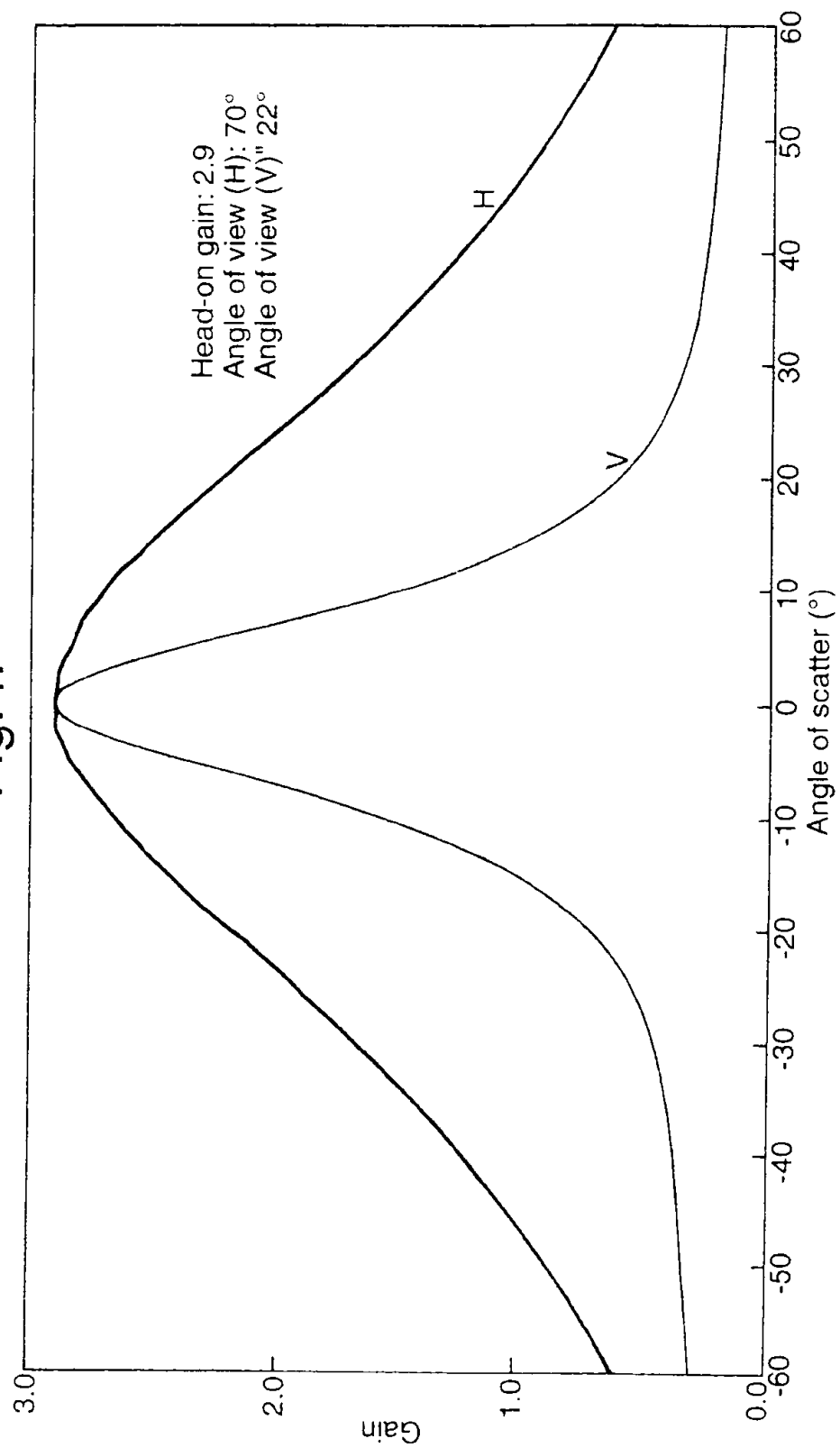


Fig.4.





European Patent  
Office

# EUROPEAN SEARCH REPORT

Application Number  
EP 97 30 9025

DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT			
Category	Citation of document with indication, where appropriate, of relevant passages	Relevant to claim	CLASSIFICATION OF THE APPLICATION (Int.Cl.6)
D,X	US 4 983 016 A (YAMAMOTO YOSHIHARU) * claims *	1-22	G03B21/60 C08L101/00 C08J5/18 C08J3/00 C08L23/10
X	DATABASE WPI Section Ch, Week 9323 Derwent Publications Ltd., London, GB; Class A32, AN 93-185565 XP002057957 & JP 05 113 606 A (SUMITOMO CHEM CO LTD) , 7 May 1993 * abstract *	1-22	
X	WO 95 12631 A (DU PONT) * claims *	1-20	
A	EP 0 265 956 A (HITACHI MEDICAL CORP) * claims *	1-20	
			TECHNICAL FIELDS SEARCHED (Int.Cl.6)
			G03B C08L C08J
The present search report has been drawn up for all claims			
Place of search THE HAGUE		Date of completion of the search 6 March 1998	Examiner Clemente Garcia, R
<p>CATEGORY OF CITED DOCUMENTS</p> <p>X : particularly relevant if taken alone Y : particularly relevant if combined with another document of the same category A : technological background O : non-written disclosure P : intermediate document</p> <p>T : theory or principle underlying the invention E : earlier patent document, but published on, or after the filing date D : document cited in the application L : document cited for other reasons &amp; : member of the same patent family, corresponding document</p>			

EPO FORM 1503 03/82 (F04C01)